

2025年度入学試験問題

国 語

(11月23日)

経済学部	経	済	学	科	(数学・英語のいずれかを選択しても可)		
経営学部	経	営	学	科	(数学・英語のいずれかを選択しても可)		
法学部	法	律	学	科	(数学・英語のいずれかを選択しても可)		
文学部	人	間	学	科	(数学・英語のいずれかを選択しても可)		
教育学部	教	育	学	科	(数学・英語のいずれかを選択しても可)		
教育学部	児	童	教	育	学	科	(数学・英語のいずれかを選択しても可)
看護学部	看	護	学	科	(数学・英語のいずれかを選択しても可)		
国際教養学部	国	際	教	養	学	科	

開 始 午前10時30分

終 了 午前11時30分

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この冊子は19ページです。落丁、乱丁、印刷の不鮮明及び解答用紙の汚れなどがあった場合には申し出てください。
3. 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督員の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。

① 受験番号欄

受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名とフリガナを記入してください。

4. 解答は解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば、

10

 と表示のある問いに対して◎と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の◎にマークしてください。

(例)

10	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
----	-----	-----	-----	-----	-----

5. 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいません。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

次の文章を読んで、問一〜八に答えなさい。

顔はまったくもって悩ましい存在です。

履歴書に貼り付けた証明写真の顔は、表情がこわばって暗い印象だし、友達が送ってくれた食事会の写真は顔が歪ゆがんでいる……こんな風に、自分が写った写真を見ると、がっかりしたり、恥ずかしい気分になったりすることがあります。今度は鏡をのぞくと、目の下のクマやシワばかりが目に残り、若さが失われていく恐怖におののくことも。そう、いつだって自分の顔は気になるし、悩みの種なのです。

ただ、よく考えると不思議なことです。昔の人たちは、現代人ほどには、^Aこんな悩みを抱えていなかったはずなのです。古代の青銅でできた鏡は、権力の象徴であり、宝物でしたから、^Bそう簡単に拝むことはできなかつたでしょう。庶民が鏡を持てるようになったのは、江戸時代になってからと言われています。それまではよほどのお金持ちでないかぎり、日常で鏡を愛用することは難しく、多くの人が自分の顔を今ほどよく知りえなかつたはず。たとえ「Aさんはとりわけ美人だな」と思っても、それは他のBさんやCさんとの比較であつて、自分の顔と比べたものではないでしょう。ですから、「自分はAさんみたいに可愛かわいくない」と今ほど卑下することはありません。「わたし」という自己意識の形成に、自分の顔のイメージや他者の顔との比較が影響しないのです。

一方、現代の私たちの自己意識には、過剰なまでに自分の顔のイメージがつきまといまふ。鏡の普及に続いて、カメラを手にした人々は、幼少期から老年期までの自分の顔の写真を、分厚い背表紙のアルバムに人生の証あかしとして大切に貼り付けました。そして、スマートフォンが登場するやいなや、あらゆる場所で自分の顔を撮りまくり、美しく修整した顔をSNSにアップするようにもなりました。テクノロジーの急速な発展がもたらした「自分の顔」を、私たちは取り憑つかれたように追い求め、劣等感に苛さいまれ、さまざまな行動に駆り立てられます。「自分の顔」^Cに取り憑かれるのは、技術革新が生み出した現代病なのかもしれません。

そもそも、長い進化の歴史の中で、人は他者の顔^Dを認識する能力を目覚めしく発達させてきました。例えば、大勢の人で混み合う駅の改札で、私たちはいとも簡単に待ち合わせの相手を見つけることができます。ですが、もし、改札口から出てくるのが人間以外の動物だとしたら（例えばサルなら）、どの顔も同じように見え、大勢の中から特定の1匹を見つけ出すのはとても難しいでしょう。このように、人の顔であれば、ごくわずかな違いでも見分ける能力が人間の脳にはそなわっているのです。（*中略）私たちが覚えることのできる顔の数は、なんと5000人にも及ぶそうです。さらに、他者の微細な顔の動きから素早く感情を読み取り、目の動きから意図を正確に推測できます。この優れた顔の認識能力こそが、人々の共同作業

を促進し、地球を席捲^{せつけん}する文明社会を築く礎となってきたのです。しかし、この他者の顔を認識するための機能が、鏡やカメラなどの普及によって「自分の顔」を認知するためにも使われるようになり、自己意識^Eの領域までも侵食されてしまったのです。

私は認知神経科学者として、人の心の仕組みを大学で研究しており、その中で、人が顔を認識する仕組みや発達に關していろいろな研究を行ってきました。そんな私が、「自分の顔」の問題に興味を持ったきっかけは、10代の娘から教えてもらったスマートフォンアプリです。ワンタッチで自分の顔がすべすべの肌と大きな瞳を持つ若い女性に変わることにより興奮してしまいました。そこで、撮った写真を家族や友人に送ったのですが、その反応は **X** ものでした。その瞬間、若返った自分の顔に興奮していたのは自分だけだったことをまざまざと思い知らされたのです。と同時に、自分の顔は依存性の高い情報という観点から研究すると面白いのではないかと考えました。実際、世間では過剰な美容整形や顔写真の加工に盛りすぎで、第三者的に見れば、かなりブキミ^{ブキミ}な顔を見かけることが増えてきています。

そしていざ研究してみると、やはり自分の顔は、かなり特別な情報として脳の中で処理されていることがわかってきました。（*中略）顔写真の美加工に夢中になってしまうことも脳の仕組みが関与しているさうなのです。

このように、人間にとって顔というものは、他者を理解するうえでも、そして自己を理解するうえでも、とても重要な意味を持っています。そのため、人間がどのような脳の仕組みで「他者」と「自分」の顔を認識しているのかを知ることが、視覚機能の範疇^{はんちゆう}を超え、感情、社会性、自己意識がいかにしてセイセイ^{セイセイ}されるのかを理解することにつながります。また、鏡の中に自分の姿を発見するカティ^{カティ}は、それらの複雑な機能がどのようなプロセスで発達していくのかを知る重要な手がかりを与えてくれます。さらに、バーチャル・リアリティや人工知能などの科学技術が急速に発展している中で、自分の顔の **Y** は大きく変わってきています。それらは、私たちの自己意識や他者との関わりにどのような影響を及ぼすのでしょうか。自分の顔を取り巻く問題については、脳科学や心理学、進化や文明の歴史、社会学から工学まで、幅広い観点から理解していく必要があるのです。

（中野珠実『顔に取り憑かれた脳』による。設問の關係上、本文を改めたところに*を付した。）

問一 傍線部ア～ウの漢字と同じ漢字を含むものを、次の①～⑤のうちから一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、アが

1、イが 2、ウが 3。

ア
ブキミ

- ① ミに余る光榮
- ② 努力がミを結ぶ
- ③ ミレンが残る
- ④ 人間ミ豊かな人
- ⑤ ミワク的なまなざし

イ
セイセイ

- ① 一家のセイセイを立てる
- ② テンセイの楽道家
- ③ セイミヨウなからくり人形
- ④ 過去をセイサンする
- ⑤ セイジンの日を祝う

ウ
カテイ

- ① 散歩をニツカとする
- ② カミツなスケジュール
- ③ 悪友にカンカされる
- ④ カミンをとる
- ⑤ 将来にカコンを残す

問二 傍線部A「こんな悩み」を説明したものととして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つを選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号

は、 4。

- ① 写真に写る自分の顔が気に入らないこと
- ② 自分の顔を鏡で見て落ち込んでばかりいること
- ③ 人の顔の美醜にこだわってしまうこと
- ④ 人から自分がどう見えるか気になること
- ⑤ 自分の顔が気になって仕方ないこと

問三 傍線部B「そう簡単に拜むことはできなかった」を説明したものとして最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号を

マークしなさい。解答番号は、5。

- (a) 非常に珍しく貴重なので、なかなか見ることができなかった。
- (b) 神仏のように尊い存在なので、自分のために使うことを嘆願するのは無理だった。
- (c) 祈りの対象にもなっているので、礼拝させてもらうために許可が必要だった。
- (d) 権力者に対する敬意を表すために鏡を拜むのは、特別なところへ行かない限りできなかった。
- (e) 不思議な魔力を秘めたものだと考えられていたので、庶民が持つのは禁じられていた。

問四 傍線部C「自分の顔」とあるが、自分の顔という語句に「」が付けられている理由を説明したものとして最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、6。

- (a) 自分の顔が他人の顔に比べてどうかという自己意識の強さを強調するため。
- (b) この文章のテーマが顔であり、わけても自分自身の顔がそのメインテーマなため。
- (c) 顔を認識する能力は自分の顔に対して最大になることを示すため。
- (d) 自分の顔には、他者の顔を認識するために利用されるという面があることを示すため。
- (e) 鏡やカメラでうつすリアルな自分の顔だけでなく、修整や加工をした自分の顔も含むため。

問五 傍線部D「他者の顔」と、「自分の顔」をめぐる進化の歴史を筆者はどう説明しているか。最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選

び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

7

(a) 大勢の人で混み合っても他者の顔は認識できるが、自分の顔は自分では見ることができないため、テクノロジーが発達するまで自分の顔の情報処理は退化してしまっていた。

(b) 人間は、特別に顔の認識能力を高めることで高度に進化してきたが、現代はその能力を人間以外にも適応させ、より優れた脳内処理が行われるようになった。

(c) 元々は他者の顔を認識する能力を先に発達させたが、それが自分の顔を認識する方へ移っていき、現代は自分の顔を特別な情報として脳内で処理するようになった。

(d) 他者の顔を認識する高い能力を身に付けたのをきっかけに、自分の顔を見ることで対象を詳細に分析し、情報をつかむという高度な認知能力を発達させてきた。

(e) 人間は人の顔を認識する優れた能力を使って、他者の顔から感情を読み、自分の顔が他者にどう認識されるかを意識することでコミュニケーション能力を発達させてきた。

問六 傍線部E「自己意識の領域までも侵食されてしまった」とはどういうことか。それを説明したものとして最も適切なものを、次の(a)～(e)のうち

から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

8。

(a) 他者の顔を細かく見分けられる能力が自分の顔を認識することにも働き、自分の顔がどんな顔か、眉、目、鼻、口の配置や大きさ、色、形などが詳細に認識されるようになったということ

(b) 自分の顔がどんな顔か、他者の顔とどう違うのか、どんな感情を有し、人にどんなイメージを与えるどんな人間なのかということまで深く関わるようになったということ

(c) 自己とは何かを判断する領域は、本来心理学的なものだったが、認知神経科学によって脳の問題だと認識されるようになったということ

(d) 「自分の顔が他者の顔と比べて、より美しく、より良い」という自己意識が、何よりも重要なものとして脳の中に位置づけられるようになったということ

(e) 「自分の顔は他者の顔とは異なるものである」ということが理解されるようになり、自己対他者という対立概念が成立し、自己意識がより明瞭になったということ

問七 空欄 X に入る語として最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

9。

(a) 同情的な

(b) 侮辱的な

(c) 冷ややかな

(d) あやふやな

(e) とんちんかん

問八 空欄 Y

に入る語句として最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

10

(a) 存在意義

(b) 悩み

(c) 進化

(d) 在り方

(e) 魅力

メ モ

試験問題は次に続く。

次の文章を読んで、問一〜七に答えなさい。

給与明細を眺めると、いろいろな名前の税金や保険が引かれている。税金も保険も頼んでもいないのに、引かれている。これもやっぱりよくわからない。^A「税金のおかげでインフラや福祉や医療が整い、安心して暮らせているんだ」とか聞いたことがあるのだけれど、ぼく自身はあまり税金や保険で安心できている実感が^Bない。援助が必要な人がいて、それを支えているのだとは思いうし、いまはたまたま健康なぼくがそういう方々に代わってなにかをするのはやぶさかではないの^Bけれど、ぼくの納めた税金でこんなに人が助かっています！ というのがもう少し見えやすくないかなあ、いつも思う。

税金というのも不思議なもので、まずみんなからお金を集めて、その集まったお金でなにをやるか決める。それで予算が足りないとか、予算を使い切らないと、なんてことを考え出す。それよりも、最初にやりたいことを決めて、それを実現したい人がお金を持ち寄ってことを進めるのが、真つ当なやり方^(注1)に^(注1)思える。税金は強制型のクラウドファンディングだとわかると、リターンが判然としないし、強制なものも納得い^(注1)かない。個人や会社でのクラウドファンがふつうにおこなわれるようになった昨今^(注1)にあつて、どうして国レベルになると、おかしなクラウドファンになるのか、ぼくにはよく理解できない。

モノやコトに値段がついているのも、よくわからない。^Cスーパーで売られているトマトはだいたい100円くらいだが、なぜそれが100円なのか、よくわからない。トマトが好きな人もいて、トマトが苦手な人もいる。お腹^{なか}が空いている人もいて、お腹^{なか}がいっぱいの人もいる。それぞれの人にとって、スーパーに陳列されているトマトは、異なる価値を持つはずだ。けれど、トマトは一律、100円なのである。

^(注2)ムラブリがトマトを目の前にして、まず考えるのは「いるか、いないか」だと思う。お腹^{なか}が空いているならいるし、トマトを食べる気分じゃなければ^(注2)いら^(注2)ない。いるとなつて初めて、それをどうやって手に入れるか考えるだろう。売っているものなら、お金があるか確かめるし、畑になつているものなら、畑の持ち主に聞くだろうし、森になつているものなら、いただく(森にトマトはならなさそうだけど)。

ぼくの場合はスーパーのトマトの前で、買うか買わないかを迷っているとき、ぼくはトマトが欲しいのか欲しくないのかよりも先に、買えるか買えないかの基準で考えていることに気づく。そもそも、自分の給料で買える価格帯の商品が売られているスーパーを選んでるところから、ぼくはすでに選ば^(注2)されている。

これはトマトに限らない。お昼ご飯だつてそうだ。漠然とお昼だからというくらい理由で、お昼ご飯を食べようとする。お腹^{なか}が空いているかどうかの見極めもせずに、財布を開いて、どのくらいあるかを確かめ、その財布にあるお金に見合ったお昼ごはんを食べる。お金があれば外食し、お金^(注2)なければ自炊する。多くの場合、食べ過ぎてしまう。

こんな風に、ムラブリの身体性から見るほどの日常は、これまでしているからとか、他の人もそうだからという理由だけで、「なんとなくしている」ことで埋め尽くされていた。自分の心からしたいことが、どれだけでできているだろうか？ 何不自由ない生活を送っているはずなのに、心からしたいことから遠ざかっているかのようには思えるのはなぜだろう？

ここであらためて給与明細を見る。ぼくはこれだけのお金が必要なのだろうか？ ぼくが生きるのに必要なモノはなんだろうか？ いままでほとんど考えてこなかったことだ。

ムラブリは生きていくのに必要なことをぼくより知っていて、しかもそれを自分でできているように見えた。森の中で寢床をつくり、食べ物を森から与えられ、川の水や湧き水を飲み、服の代わりに葉っぱに身を包んで、歌うように話しながら生きる。村に定住した現在においても、10代になればほとんどのムラブリは寢床を自分の手でつくれるし、資源がある限りは食料や薪を森から調達する術を身につけている。別に学校で教わるわけではない。必要だから身につくのだろう。

一方ぼくは、30数年も生きて、家もつくれないし、服もつくれない、食べ物も自分で調達できない。家のつくり方を知らない、アパートに住んで家賃を払っている。布を織って裁縫して服をつくることもうまくはできないので、お金で買っている。セイケツ^アなキッチンで料理することはできるけど、食材は買ってこなければならず、野原に行っても食べられる草とそうでない草の見分けもつかない。動物を捕まえて、屠殺^{とぎつ}することもできない。自分を生かすために必要なスキルはすべて **X** して生きていることに、この年齢でようやく気づいたのだった。

自分の生を **X** している間は、ぼくはお金に頼らざるをえない。けれど、お金を稼ごうにも、給料の算出根拠が不明で、どのような金額だったとしても、おそらくぼくは納得することができない。納得できないものに頼って生きていることを自覚しているのに、そんな自分の人生に胸を張れるだろうか。ぼくには難しく感じられた。大学を辞めて独立研究者を名乗ってはいたが、結局はお金に依存して暮らしている自分に「なにかの独立だよ」とツツコミを入れながら、自分の肩書きに納得がいなくなってもいた。生活するためにお金が必要であり、そのお金を得るために研究している限り、ぼくはぼくの本当の関心へと向かえない。では、どう生きるか？

ともかく、まずはムラブリを見習って、衣食住を身ひとつでマカ^イナえるようになることを目指そうと考えるようになっていった。

(伊藤雄馬『ムラブリ 文字も暦も持たない狩猟採集民から言語学者が教わったこと』による。設問の関係上、本文を改めたところがある。)

(注) 1 クラウドファンディング——インターネット上で、資金を調達すること。クラファン。

2 ムラブリ——筆者が研究対象としている村落社会、人々、言語。

問一 傍線部ア、イの漢字と同じ漢字を含むものを、次の(a)～(e)のうちから一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、アが

11、イが 12。

ア セイケツ

- (a) リユウケツの惨事
- (b) トウケツされた工事
- (c) コウケツな人格
- (d) ボケツをほる
- (e) 議案をカケツする

イ マカナえる

- (a) セキニンが重い
- (b) ワイロをおくる
- (c) ユウズウをきかせる
- (d) スイジの当番
- (e) 情状をシヤクリヨウする

問二 傍線部A、Cの「よくわからない」は、何に対する疑問だとまとめられるか。最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記

号をマークしなさい。解答番号は、 13。

- (a) あらかじめ定められていることへの疑問
- (b) 国の諸制度に対する疑問
- (c) 必要ないものに対して支払わされることへの疑問
- (d) 手に入れないものが社会に出回っていることへの疑問
- (e) 最初にお金を集めてから使い道を考えることへの疑問

問三 傍線部B「やぶさかではない」の語義を説明したものとして最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。

い。解答番号は、 14。

- (a) 突然思いついた
- (b) それほど努力しない
- (c) たまたまそう考えはじめた
- (d) まったくそう思わない
- (e) よろこんで前向きに行う

問四 傍線部D「ムラブリの身体性」から起こると言えないものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

15。

- ① いるか、いらないかを考える
- ② どうやって手に入れるかを考える
- ③ お金があるかどうかを考える
- ④ お腹が空いているかどうかを考える
- ⑤ 家を作るかどうかを考える

問五 二箇所ある空欄 X に入る語句として最も適切なものを次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

16。

- ① 依頼
- ② 自立
- ③ 外注
- ④ 完成
- ⑤ 演出

問六 傍線部E「納得がいなくなってもいた」とあるが、それはなぜか。最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマ

クしなさい。解答番号は、17。

- ① 納得できないものに頼って生きていることを自覚したために、自信がなくなったから。
- ② 大学の教員という身分は、もともと自分に向いていると思えなかったから。
- ③ 独立しているといいながら、結局はお金に依存して暮らす研究者だったから。
- ④ 生活するために研究しては、本当の研究はできないと言われたから。
- ⑤ 言語学者という肩書きにふさわしい、十分な研究ができなくなっていたから。

問七 本文の内容をまとめたものとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

18。

- ① 給与明細からは、理由が分からないにもかかわらず、税金や保険が引かれている。そうした社会においては、自由に生きることが難しくなり、もっと自分らしく生きるためには、少しでも不自由なムラブリのような原初的な生活を試みてみる必要があると考えはじめた。
- ② 現代日本では、定められているから行っているという形で生活しているが、ムラブリでは、やりたいことや必要なことがまずあって日常を送っている。ムラブリのように生きるためには、まず、日常生活を自分だけで完結させるようにしてみようと思った。
- ③ ムラブリは、「いるか、いないか」から発想して生活しているのに対し、現代人はお金で買えるか買えないかを基準に生活を営んでいる。そうした生き方は、やむを得ないところもあるが、まずはシンプルに衣食住を基準に生活を始めようと思いついた。
- ④ 税金も保険も必要なのだが、国による強制的なクラウドファンディングと考えることができる。そうした制度には分からない部分が多すぎるので、必要かどうかを基準にして自分が本当にやりたいことを行える生き方をしてみようと考えようになった。
- ⑤ ムラブリと生活する中で、全てのモノやコトに値段が付いている現代社会のあり方に納得できない考えが生まれた。そこで、衣食住を自分で自由にまかなえることを目指すと決めることで、ムラブリの身体性を獲得することができた。

メ モ

試験問題は次に続く。

次の文章を読んで、問一〜七に答えなさい。

最近楽しくなってしまうた文章をご紹介します。うちの下の娘（当時小学三年）のクラスでは、毎週、担任の守先生手作りの学級通信『果汁^A100%』が配られる。わたしも愛読者である。

そこに、こんな記事が載った。

3の2小話

ほんとにあった、ウソのような話…

〈瞳をこらして〉

先生・「瞳^Bをこらすという言葉がありますが、この言葉の意味がわかる人いますか？」

Aくん・「はい!! 目を大きくあけることです」

先生・「ほオ、なるほど…他には？ はい、Bくん!!」

Bくん・「はいっっ!! 口のまわりにタオルとかを当てて息ができないようにすることです!!」（自信たっぷり）

Cくん・「そりゃ、ヒトをクロスだろ…」

（ぶっそうですすみません でもこんな答えを奨励している訳ではありませんから、ご安心を）

〈目まぐるしく動く〉

先生・「目まぐるしいって、どんな意味？」

Aくん・「はい!! 色々なものがあちこちを通り過ぎ、目がまわること」

先生・「いいね、いいね。…あっ、Bくん、手をあげてるね、どうぞ」

Bくん・「はいっっ!! サークスとかで、トラとかが輪をくぐること…」

Cくん・「そりゃ、火の輪くぐりだろ」

一同^Aバクシヨウ、先生涙…

ちなみに、このB君は同一人物で、つつこみを入れるC君も同じ子です。B君はまじめな顔して平気ですつとぼけてしまう、まさに天然ボケの少年でクラスの人気者。ユカイ^イで元気があり、傍にいるだけで楽しくなる子です。誰だかは…お子さんに聞いて下さい。

B君の頭の回転は素晴らしい。いや、回転というより閃く^{ひらめ}のである。授業がそう流れてくることなど予想できない。咄嗟^{とっさ}にそう出るのである。そして、さらに凄^CいのはC君の存在だ。

B君がしゃべっただけでは、それこそただの無意味なうわ言である。その意図を読み取り、瞬時につつこんでみせなければならぬ。それが彼の役どころなのだ。

〈目まぐるしい〉の方は、ちよつと凝り過ぎの感がある。しかし、前者のやり取りは絶妙。《口のまわりにタオルとかを当てて——》と出たことによつて生じる不可解さ、奇妙なキンチョウ。それを鮮やかに解決するC君。《そりや、ヒトをコロスだろ》

まさに黄金のバッテリーである。どちらが欠けても、この芸はできない。

そこで思ったのだが、これは《本格推理》の行き方ではないか。話の流れの中で、摩訶不思議な謎を作る者と、それを解く者の絶妙の連繋^{ねんけい}プレーが要求される。

神のごとき名探偵というのは、紙の上だけの話、現実感のないものと思いがちだ。しかし、C君の才知の閃きを前にすると、あり得ないことでもないので、かと思つてしまう。

(*中略)

さて、現代本格の代表選手の一人、綾辻行人さんと一緒に、氏の『霧越邸殺人事件』の舞台を観たことがある。(注) (*中略)

原作に忠実かつ要領のいい脚色で『霧越邸』の妙味がよく伝わってきた。

その後で、綾辻さんに『霧越邸殺人事件』の感想をお話した。

この作には、計算^Eされた《あまり》がある。上の硝子^{ガラス}が十文字に割れて、最後まで説明がつかないといったような、いわゆる本格の枠におさまらないところである。わたしは、そこを非常に面白く読んだ。

そして最後に、重要な登場人物が読者の目から隠されていたことが分かる。いうまでもなく従来の本格では、そういうことはタブーである。アンフェアとされる。

わたし自身が、いまだに忘れられない例をあげれば、ルブランの『虎の牙』。子供向けのルパン全集が小学校の図書館にあった。これを借りるのが無上の楽しみだった。

小学二年から役員をやることになっていった。図書委員になると図書館の本を借りられるという噂が流れ、真つ先にその役を希望したことを思い出す。ただし蓋をあけてみれば、二年生からは誰でも借りられるのだった。カウンター当番をしながら、だまされたような気がしたものだ。

さて、『虎の牙』だが、巻末に至ってそれまで一度たりとも姿を見せたことのない怪人物が現れ、それが——犯人なのだ。呆れてしまった。しかし、『霧越邸』の場合は膝を打ったのである。

(北村薫『謎物語 あるいは物語の謎』による。設問の関係上、本文を改めたところに*を付した。)

(注) 本格推理／本格——本格推理小説の略。複雑な犯罪トリックの解明や犯人捜しを中心にストーリーが展開されるもの。

問一 傍線部ア～ウの漢字と同じ漢字を含むものを、次の(a)～(e)のうちから一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、アが

19、イが 20、ウが 21。

- | | |
|--|---|
| <p>ア</p> <p>バクシヨウ</p> <p>(a) バクガ糖を分解する酵素</p> <p>(b) 江戸のトバクの実態</p> <p>(c) 過去のジュバクに囚われる</p> <p>(d) キバク装置を取り付ける</p> <p>(e) 徳川バクフの将軍</p> | <p>イ</p> <p>ユカイ</p> <p>(a) カイトウ乱麻の活躍</p> <p>(b) コウカイ先に立たず</p> <p>(c) 警官がカイニユウする</p> <p>(d) 巨大でカイリキの英雄</p> <p>(e) 新しい農地をカイトクする</p> |
|--|---|

- | |
|---|
| <p>ウ</p> <p>キンチヨウ</p> <p>(a) あゆ漁がカイキンになる</p> <p>(b) キンシユク財政</p> <p>(c) テツキンの建物</p> <p>(d) キンサで勝利する</p> <p>(e) キヨウキンを開いて話し合う</p> |
|---|

問二 傍線部A「果汁100%」という学級通信のタイトルにはどのような思いが込められているか。担任の先生の思いとしてあてはまらないものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、22。

- ① 保護者が、爽やかな読後感が得られるように、子どもたちのようすを伝えたいという思い
- ② 混じりけのない純粋な子どもたちのようすを、新鮮に思う気持ち
- ③ 子どもたちの日々をストリートに伝えて、保護者に楽しんでもらいたいという思い
- ④ 学級通信の記事内容を何とかぎゅっと絞り出して、おもしろくアレンジして伝えたいという思い
- ⑤ 子どもたちの生き生きとしたようすを、あたたかく見守ろうという思い

問三 傍線部B「瞳をこらす」の「こらす」は本来どのような意味か。次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号

は、23。

- ① 固く結びつける
- ② 一つの所に集中させる
- ③ あれこれ工夫する
- ④ 懲らしめる
- ⑤ 力を入れて疲れさせる

問四 傍線部C「凄いのはC君の存在だ」とあるが、筆者はC君のどこが凄いと考えているか、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうち

から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、24。

- ① B君の発言内容の不自然さを、さらに奇想天外なかたちに展開するところ
- ② B君の理解の悪さを、B君が傷つかないようにやさしく修正するところ
- ③ B君の謎めいた発言の根拠を瞬時に理解し、謎の部分を読み明かすところ
- ④ B君の発言内容のおかしなところを指摘し、B君をぎゃふんと言わせるところ
- ⑤ B君の発言につっこみを入れる役割を引き受け、ウケを狙おうとするところ

問五 傍線部D「《本格推理》の行き方」とあるが、筆者がどのように考える根拠を説明したものとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一

つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、25。

- ① B君が犯人に相当し、C君が読者に相当するといえるから。
- ② B君が犯人に相当し、C君が作者に相当するといえるから。
- ③ B君が犯人に相当し、C君が探偵に相当するといえるから。
- ④ B君が作者に相当し、C君が読者に相当するといえるから。
- ⑤ B君が作者に相当し、C君が探偵に相当するといえるから。

問六 傍線部E「計算された《あまり》とあるが、筆者のいう《あまり》とは何か。最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の

記号をマークしなさい。解答番号は、26。

- ① それまでいっさい登場しなかった人物が犯人であること
- ② 重要な人物の存在を、読者にわからないようにすること
- ③ 結局最後までだれが犯人かわからないままであること
- ④ 犯人がほかにもいるということが、最後になってわかること
- ⑤ 犯人は存在せず、説明がつかないことによって事件が起きること

問七 傍線部F「膝を打った」の意味として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

27。

- ① 安心した
- ② びっくりした
- ③ 工夫をこらした
- ④ 感心した
- ⑤ 打ち解けた

